

研究分野		授業科目名				科目責任者	
形態系分野		検証病理診断学特論Ⅱ				森谷 卓也	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2		選択		2			
目的							
病理学的な研究の意義を理解するために、実施の適応、研究の手法、結果の解釈法をそれぞれ習得する。							
授業到達目標							
(1) 英語文献における病理学的用語について理解し、自分でも使用することができる。 (2) 病理組織標本の作製過程を概説できる。 (3) 免疫組織化学の概要を説明できる。 (4) 研究領域に関連した論文の病理画像について理解し、説明できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	隔週	金	16:00-17:00	森谷 卓也 塩見 達志	講義	[抄読会]	病理学一般、免疫組織化学等に関する研究手法や解釈に関する討論、文献紹介等を行う。 [場所:本館棟 5 階病理学実験室]
2	毎月	不定期 月 2 回	16:00-17:00	森谷 卓也	講義	[研究検討会]	研究の病理像について報告し、討議を行う。 [場所:本館棟 5 階病理学実験室]
3	毎月	不定期 月 2 回	16:00-17:00	塩見 達志 西村 広健	講義	[症例検討会]	研究に関連する疾患の病理標本を観察し、討議する。 [場所:本館棟 5 階病理学実験室, 附属病院 4 階病院病理部]
4	毎月	不定期 月 2 回	16:00-17:00	森谷 卓也	講義	[症例検討会]	研究に関連する疾患の病理標本を観察し、討議する。 [場所:本館棟 5 階病理学実験室, 附属病院 4 階病院病理部]
評価方法							
(1) 1年間※で、講義は 30 時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を 2 回行い、その要約 2 編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。 ※ 2 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。単位履修方法参照。							
課題（レポート等）に対するフィードバック							
紹介論文の要約について、添削して返却する。							
教科書							
ISBN-9784765317665, 外科病理診断学 原理とプラクティス, 真鍋 俊明（監）, 三上 芳喜（編）, 金芳堂, 2018							
参考書							
ISBN-9784830604768, 組織病理アトラス（第 6 版）, 小田 義直・坂元 亨宇・深山 正久・松野 吉宏・森永 正二郎・森谷 卓也（編）, 文光堂, 2015							
ISBN-9784830622625, 乳癌, 森谷卓也, 津田均編集, 文光堂, 2022							
ISBN-9784765317825, 免疫染色究極マニュアル, 伊藤 智雄（編著）, 金芳堂, 2019							
ISBN-9784830604812, 外科病理学, 深山正久, 森永正二郎編集主幹 ; 小田義直 [ほか] 編集, 文光堂, 2020							
準備学習（予習・復習等）							
講義ごとに紹介する文献・論文に関連する参考図書とともに、1 時間程度次回講義までに読んでおくこと。 毎回の講義後も提示論文や症例を復習すること。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的方法論・思考法を習得する。							
注意事項・メッセージ							
(1) 対象臓器・疾患の種類にかかわらず、病理形態学的手法に関する内容であれば参加が可能です。 (2) 参考書の推薦も行います。							